

天台スカウト・ニュース



No. 3

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2天台宗務庁内
ホームページアドレス：<http://www.tendai-scout.jp>

発行日：平成21年5月1日



理事長
幹 榮盛

寺院の青少年教化活動にボーイスカウ

天台宗寺院のうち、現在ボーイスカウトの団をもっているのはわずかに13団でしょうか。これは他宗とは比較にならない数字です。

ボーイスカウトに限らず、天台宗はほとんどすべての分野において社会的に進出するのが出遅れていると言えます。保育園、幼稚園、老人ホーム、保護司、教誨師、布教師会、仏教青年会、仏教婦人会、ビハーラ運動、海外布教など何れもです。しかも諸先輩の努力にもかかわらずなかなか全国的な広がりがありません。

その原因は「日本仏教の母山」にあぐらをかき、「布教」に重点をおかなかったからではないでしょうか。今後の日本仏教を思う時、世界的にその重要性が注目される時代がきていると思います。その中で檀家制度の崩壊は目の前です。そうなれば「信者」を獲得するしかありません。したがって熱心に布教をしない宗派

は置き去られます。一方では他宗派とも手をつなぎながら、自宗の独自の教えを布教する必要があると思います。それが日本仏教の母山としての天台宗が生き残る道です。

さて、「ボーイスカウト運動」は今から100年ほど前にイギリスでおこりました。当時、世の中が乱れ、青少年の非行が目立った時代でした。そのとき出てきたのがベーデン・パウエルという退役軍人でした。彼は少年たちを集めてキャンプをし、著書に著してこの運動を広げました。1912年には日本にもやってきて、翌年には日本にボーイスカウト団ができました。その特色は、小学1年生～大学生までの青少年一環教育であり、①班制度、②進歩制度、③野外活動を基本としており、なかでも「信仰」が非常に重視されているということで、いまでは世界156ヶ国、2,500万人（日本は18万人）のスカウトたちが活動しています。

もし、寺院に地域の要望があれば、境内と本堂・会議室・倉庫を提供し、ときどき法話をしてやるだけで、あとは地域の指導者たちが自発的にやってくれます。このように寺院の青少年教化に最適なボーイスカウト運動を、どうぞ応援してやってくださいますよう、お願いするところです。 合 掌



仏教スカウトベンチャーフォーラム開催決定

日時：平成21年8月26日～28日 主会場：比叡山延暦寺

平成21年8月26日～28日の3日間、比叡山延暦寺を主会場に仏教スカウトベンチャーフォーラム（主催：仏教スカウト連絡協議会）を開催致します。

フォーラムでは「ともに生かそう、いのち」をテーマとして、今日、人類が直面している平和・環境・人権問題から「いのち」についてディスカッションする場をベンチャースカウトたちに提供し、仏教スカウトとしての生き方、社会での役割、地球という大きな枠組みの中で、1人の仏教スカウトとして何ができるのかを考えさせる機会を設けます。

また、日本仏教の母山である比叡山、近畿地方の水瓶である琵琶湖を舞台に技能章（カヌー章・鳥類保護章・森林愛護

章・水泳章）取得や、延暦寺諸堂巡拝などのカリキュラムを企画しており、心身共にベンチャースカウトたちが成長する機会になることを目的としております。



テーマ
ともに生かそう、いのち

第25期 仏教章第2教程講習会 開催

平成21年3月26日～28日の2泊3日間、雪が舞う比叡山延暦寺居士林を会場に、『第25期仏教章第2教程講習会』を開催。天台宗をはじめ真言系・浄土系・禅系・日連系の諸宗派寺院に所属する35名（うち女子6名）のスカウトたちが参加した。

講習会では羽生田副理事長による「伝教大師の伝記」、小嶋理事による「家庭勤行」、幹理事長による「天台宗について・天台宗の教義」、吉川常任理事による「仏壇の荘厳」の講義や、林常任理事による延暦寺諸堂巡拝、茅原理事による「仏歌による勤行・仏教讃歌」の講義実習が行われた。その他にも写経実習や早朝の釈迦堂での坐禅止観、深夜2時30分出発の一日回峯行などを体験。スカウトたちにとっては気をゆるめる時間がない、2泊3日となった。また、居士林における普段とは違う、厳しい規律のもとでの食事や入浴、清掃などの諸作法について指導を受け、時には叱咤されながらも、スカウトたちが徐々に成長していく姿が伺えた。

閉講式では、幹理事長より受講者全員に修了証が渡され、上級班長の石井宏明君（上尾第4団）より感謝のことばが述べられた。この講習会を終えて、心身共に成長したスカウトたちは各々の団へ帰り、最低3ヶ月の奉仕活動を通して教えを実践し、信仰を深めた後に日本連盟より名誉ある仏教章が授与される。



▲開講式、うつむき加減のスカウトたち



▲閉講式、スカウトたちの成長が伺える

第25期 仏教章第2教程 写真特集



▲初めて扱う木魚。上手に叩けるかな



▲食事作法を通して命の尊さを学ぶ



▲精神を集中させ、自分を見つめる

始めは「信仰」に関心がなく、平凡なスカウトだった…

でも、講習会を通じて仏教について深く考えるようになった。

※感想文より一部抜粋



▲一字一句、心を込めて筆を進める



▲諸堂巡拝で根本中堂を参拝



▲一日回峯行へ、いざ出発だ！

第8回 天台青年スカウトシンポジウム

平成20年8月29日～31日、岡山県和気郡日生町沖の鶴島（無人島）において第8回天台青年スカウトシンポジウムを開催。7名の天台青年スカウトと5名のOB、天台宗スカウト連合協議会より茅原理事が参加した。

鶴島は江戸時代の鎖国政策により迫害されたキリシタンの流刑地でもあり、1日目はキリシタン墓地へ向かい、当時の無念を偲んだ。その後、開

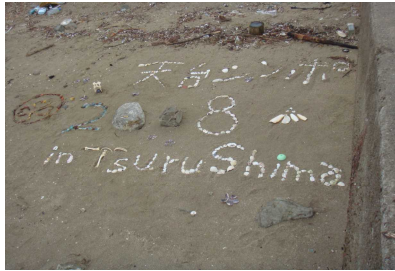
所式並びにキャンプ地の設営を実施。夕食後には茅原理事による歌唱指導を受けた。

2日目は個人プロジェクトを実施。各々が浜辺や丘陵の自然観察に励んだ。夕食後にはディスカッションを実施。個人プロジェクトの報告や新役員選出、今後の活動指針などを討論した。また、OBとの交流を図り、親睦を深めた。

3日目は日曜礼拝後にディスカッション。広報誌のタイトル等について討論。その後、徹営作業に取りかかり、閉会式終了後、渡船にて日生町本土へ上陸し、全日程を無事に終えた。



▲海に向かって日曜礼拝



▲個人プロジェクトで作成した貝文字



▲参加者全員で記念撮影

平成20年度 天台青年スカウト 活動報告



▲大圓寺スカウトハウスでの開会式



▲全日程の無事を祈り浅草寺へ



▲全国の天台ユースが参加した

第9回 天台青年スカウトシンポジウム

平成21年3月20日～22日、東京教区大圓寺スカウトハウスをメイン会場として第9回天台青年スカウトシンポジウムを開催。11名の天台青年スカウトと天台宗スカウト連合協議会より當麻常任理事が参加した。

1日目は開会式及び班ミーティング。夕食後には懇親会を開催して参加者相互の親睦を深めた。

2日目には聖観音宗総本山の浅草寺を参拝後、

蔵前駅より東京メトロ大江戸線一周企画を実施。築地や月島、東京タワー、東京ドームなどの名所を巡りながら地上と地下の違いを実感。約5時間を経て無事に一周制覇した。夕食後、次回シンポジウムやホームページの活用、役員交代、広報誌についてディスカッション。次回シンポジウムは平成21年9月20日～22日、山中キャンプ場を会場に開催予定。また、新代表に天台第14団（東久留米第2団）の高橋宏彰君が選任された。

最終日の3日目は大圓寺にて日曜礼拝。昼食後、大圓寺を清掃し、閉会式にて全日程を終了した。

『信仰奨励のための仏教スカウト指導者ハンドブック』完成

自らの信仰が重視されるスカウト活動ではありますが、スカウト指導者における信仰の弱さが目立つのが現状です。この現状を克服すべく平成19年度より仏教スカウト連絡協議会では資料作成部会を立ち上げ、約2年に亘り会議・編集作業を進め、この度、『信仰奨励のための仏教スカウト指導者ハンドブック』（オールカラー版）が発行の運びとなりました。

仏教スカウト指導者の手引きとなる内容を5章にわたって収録するほか、「信仰奨励章取得のための手引き」・「仏教章授与基準設置教宗派一覧」等の付録も収録しております。お問い合わせは社会課内「仏教スカウト連絡協議会事務局」まで。



報告 天台第1団 小西慶明君が富士章を受章



天台第1団（大津第12団）ベンチャー隊議長の小西慶明君が平成20年7月26日付けで富士章を受章しました。富士章とは日本連盟が与えるベンチャースカウトの最高位章（受章率は全体の約1%）で、知・徳・体のバランスのとれた最優秀スカウトであることを認証するものです。また、代表スカウトは東宮御所にて皇太子殿下にご接見いただき、首相官邸並びに文部科学省を表敬訪問します。

小西君は特に「びわ湖における外来種と在来種の調査」をテーマにして数箇所の定点観測で魚類等の変化をプロジェクト分析していました。受章おめでとうございます。

天台宗務庁でボーイスカウト講習会を開催

平成20年11月2日（日）、平成21年3月1日（日）に滋賀連盟第272回、第273回ボーイスカウト講習会が天台宗務庁中会議室を会場に開催され、合わせて42名が参加しました。

ボーイスカウト講習会は指導者がボーイスカウト教育の原理と基本的な方法を、その活動を体験することにより正しく理解することを主たる目的としています。

講習会ではボーイスカウト教育についての講義や坂本界限を舞台にした野外活動が実施され、参加者はボーイスカウト活動を体験し、活動に対する理解を深めました。



スカウト活動（教育）とは？

今から100年前にイギリスのベーテン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術（スカウティング）であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教（信仰）」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。

第26期 天台宗仏教第2教程講習会開催のお知らせ

平成22年3月26日（金）～3月28日（日）

於：比叡山延暦寺西塔居士林

参加資格

1. 登録完了のボーイスカウト1級以上・ベンチャー・ローバースカウト
ガールスカウトはレンジャー以上
2. 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
 - (1) 天台宗の教えに篤い信仰の心をもつスカウト
 - (2) 天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
 - (3) 家の宗派が天台宗であるスカウト
 - (4) 天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
3. 第1教程修了者（ガールもこれに準ずる）

※平成22年1月下旬に天台各団宛にご案内致します。

平成20年度 天台宗スカウト連合協議会事業報告

平成20年

- 4月24日 定例理事会 於：天台宗務庁 第5会議室
- 5月10日 会報「天台スカウトニュース」No.2発行
- 8月29日 第8回天台青年スカウトシンポジウム
～31日 於：岡山県日生町鶴島
- 11月2日 ボーイスカウト講習会滋賀連盟第272回
於：天台宗務庁 中会議室

平成21年

- 1月22日 第25期仏教第2教程準備会
於：天台宗務庁 第5会議室
- 3月1日 ボーイスカウト講習会滋賀連盟第273回
於：天台宗務庁 中会議室
- 3月20日 第9回天台青年スカウトシンポジウム
～22日 於：東京教区 大圓寺
- 3月26日 第25期仏教第2教程講習会
～28日 於：延暦寺居士林 参加者：35名

仏教スカウト連絡協議会関係事業

- 仏教スカウト連絡協議会定例理事会・・・計4回
- 仏教スカウト連絡協議会資料作成部会・・・計5回
- 『信仰奨励のための仏教スカウト指導者ハンドブック』発行
- 仏教スカウトベンチャーフォーラム準備委員会・・・計3回
- 仏教スカウトベンチャーフォーラム打合せ回・・・計1回
- 仏教スカウトベンチャーフォーラム実行委員会・・・計2回